

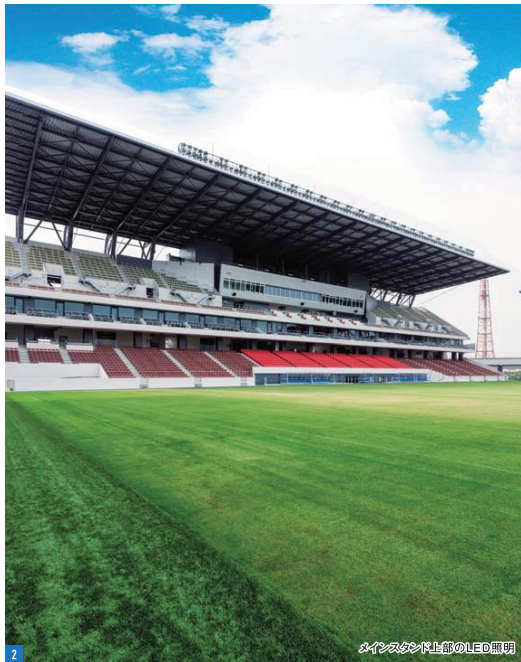
注目
建築

みんなが集い、賑わいを呼ぶ海浜エコスタジアム

ミクニワールドスタジアム北九州 (北九州スタジアム)



1



2

メインスタンド上部のLED照明

プレイヤーの躍動感、臨場感を感じる劇場型スタジアム

Jリーグ(日本プロサッカーリーグ)に所属するギラヴァンツ北九州のホームグラウンドでもあるミクニワールドスタジアム北九州(収容人数15,300人)は、JR小倉駅から徒歩約7分、北九州国際会議場、西日本総合展示場等が立地する海浜地区の一角に平成29年1月に完成したサッカー・ラグビー公式仕様の地上6階建てのスタジアムである。外観は、海辺に建つ建物として帆船のマストを想像させる西日本総合展示場のデザインと一体感をもたせるため、メインスタンド、サイドスタンドの屋根を支える鉄骨もマストをイメージさせるデザインになっている。また、北九州国際会議場の色彩とのバランスを考え、モノトーンでまとめている。

スタジアム最前列は国内で初と言われる「ゼロタッチ」(プレイヤー目線)でフィールドを見渡す事ができ、タッチライン、ゴールラインとの距離が8mしかなくプレイヤーの生の声や息づかいなども間近に感じる。上層スタンドも最大傾斜角37度でよりフィールドとの近接感が高まる。また、屋根には太陽光パネル、トイレ等の排水は雨水利用を行うなど環境未来都市北九州市にふさわしいスタジアムとなっている。



3

フィールド



4

上層スタンド/4-5F

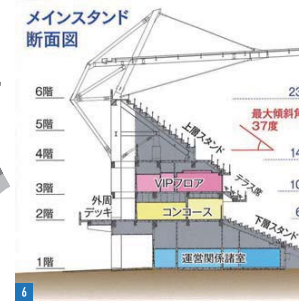
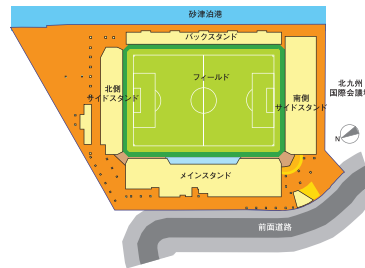


5

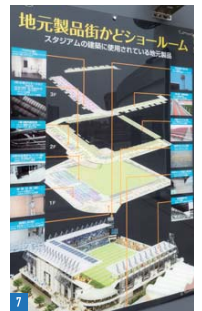
スカイボックス/3F



VIPラウンジ/3F



6



7

- 1 モノトーンの色調は海浜地区の建物の調和がとれるだけでなくフィールドの芝のグリーンが映える。
- 2 メインスタンドの屋根に付いた照明と2本の照明灯がナイターゲームを支える。
- 3 「ゼロタッチ」(プレイヤー目線)のレベルでフィールドを望む。
- 4 最大傾斜37度ある上層スタンド(4-5F席)から見るフィールドは近い。
- 5 3階にあるVIPラウンジ、スカイボックス等は、試合のない日は、会議室・パーティールームとして一般の方も広く利用できる。

- 6 4階5階にある上層スタンドはスキージャンプで有名な大蔵山の最大傾斜角度35度を越える傾斜角度。
- 7 スタジアム建設にあたって各所に地元メーカーの製品が利用されている。
- 8 ブースの扉には空室かどうか確認できるサインの工夫や、手洗いとパウダーコーナーを分ける事で女子トイレの混雑を防ぐ配慮がなされている。



8

〈所在地〉	北九州市小倉北区浅野三丁目9番33号
〈工期〉	着工:平成27年4月 竣工:平成29年1月
〈建設費〉	99.9億円
〈収容人数〉	15,300人
〈構造〉	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上6階建
〈最高高さ〉	37.7m(メインスタンド)
〈敷地面積〉	27,304.55㎡
〈建築面積〉	11,709.55㎡
〈延床面積〉	26,384.74㎡
〈フィールド〉	122.6m×85.2m (サッカー・ラグビー公式仕様)
〈指定管理〉	株式会社windシップ北九州